

のとおりである。

従来法

生シラス→真水による洗浄→水切り→煮沸（過酸化水素水原液を釜に添加）→釜揚げ→予備冷却→機械または天日乾燥→選別→箱詰め

一般法

生シラス→真水による洗浄→水切り→煮沸→釜揚げ→予備冷却→機械または天日乾燥→選別→箱詰め

改良法

生シラス→過酸化水素水噴霧*→真水による洗浄→水切り→煮沸→釜揚げ→予備冷却→機械または天日乾燥→選別→箱詰め

* 3%過酸化水素水を霧状にして満遍なく噴霧（生シラス 1t に対し、3%過酸化水素水 20L の割合）した後、ベルトコンベア上を移動させ、この間（10 分間）に完全に過酸化水素を分解させる。

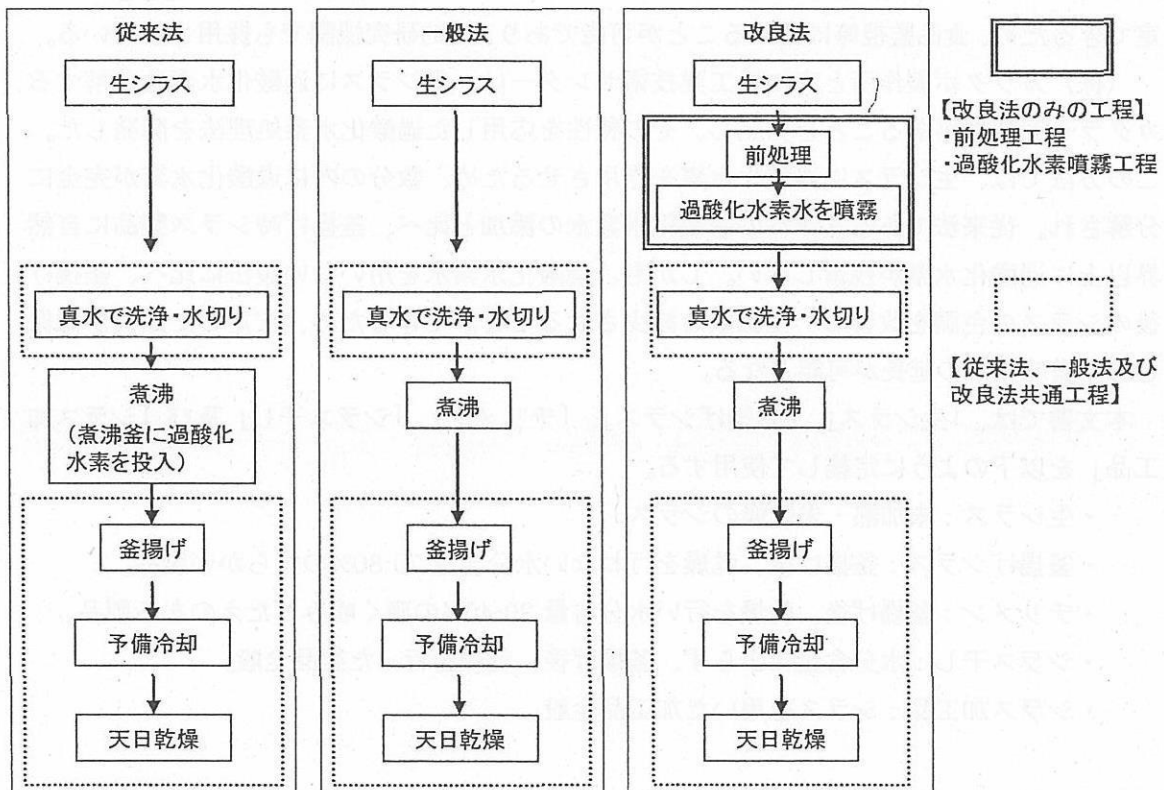


図1 従来法、一般法及び改良法の製造工程

従来法では、煮沸釜に直接過酸化水素水原液を添加し、その後、過酸化水素の分解処理